

## 大分教育事務所訪問②-45 (計118) 大分市立判田中学校に学ぶ 学校経営から学ぶ

本校は判田小学校との小中一貫教育に加え、大分南高等学校福祉科や大分大学教職大学院

(外部環境)との連携や、保護者(内部環境)と共にネットモラルに関する取組を行うなど、環境の強みを生かした実践が行われています。

特に注目すべきは、本校の学校の教育目標は、「敬愛・自主・健康」の校訓という教育理念(不易)と、時代に応じた目指す生徒像(流行)をもとに整理し、「志に生きる ~心豊かでたくましく実践力のある生徒の育成~」と定めています。さらに、生徒や保護者、教職員が常に目標を意識するために、『向学』の志、『勤労』の志、『協同』の志という、「判中立志」のスローガンを定めています。このように、最上位目標の共通理解が図られると、それぞれの行事や授業においても、何のために行うのか。生徒にどのような力(資質・能力)をつけるのかが明確になります。

今後は、育成を目指す資質・能力の3本柱を支えるような、教科横断的な資質・能力についても検討されることで、教職員だけでなく、保護者や生徒自身も、意識することができ、「判中立志」への当事者意識が高まることを期待します。

※参考資料「中学校学習指導要領解説 総則編 P52 2教科等横断的な視点に立った資質・能力」

### 授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂きました。どの教室からも、教師の声よりも生徒達の声が響き、友達の発言に対して拍手やうなずきなどの反応があり、そのため自分らしさが発揮できるのだと感じました。また、本時のねらいも「追求対象、着眼点、到達点」が示されており、日常から意識されているのでしょう。

今後は、「振り返り」においては、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にして表記することで、教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで、授業改善がより推進されると思いました。

学校は、なんのためにある？

- ① 自分が幸せになるために。
  - ② みんなが幸せに生きられる社会をつくるために。
- 中学校は、「大人になる」準備をする学校(授業も行事も全て)



NO.528 2021年11月 大分市立判田中学校

### 多方向から

実験の様子をいろいろな方向から観察する。協同して行うから、確認ができる。発見がある。



NO.529 2021年11月 大分市立判田中学校

### 拍手には

すごい！私と同じだ！頑張ったね！そうきたか！やるなあ！・・・拍手には、そのような応援のメッセージが込められている。



NO.532 2021年11月 大分市立判田中学校

### 成長を感じる

自分で考える。友達と交流する。新たな知識やいろいろな考えがあることを知る。友達の良さを発見する。そのような50分は成長を感じる。

「自立とは？」

- ① 身辺的自立 身の周りのことが自分でできる。
- ② 精神的自立 がんばらなくても、前向きには前向きになれる。
- ③ 経済的自立 収入を得て生活できる。



NO.530 2021年11月 大分市立判田中学校

### 美しい挙手

やる気に満ちあふれている。自信を持っている。挑戦したい。そんな思いが指先から伝わってくる。



NO.531 2021年11月 大分市立判田中学校

### やってみる

数学で学んだことを実際にやってみる。驚いたり感動した経験は忘れにくい。そして、活用したくなる。